

経営を加速させる「クリエイティブな知財部」への変革：ダイキン工業の挑戦

受動的な「権利化」

知財部の再定義：



発明の権利化
勝てる守り方

役割の再定義

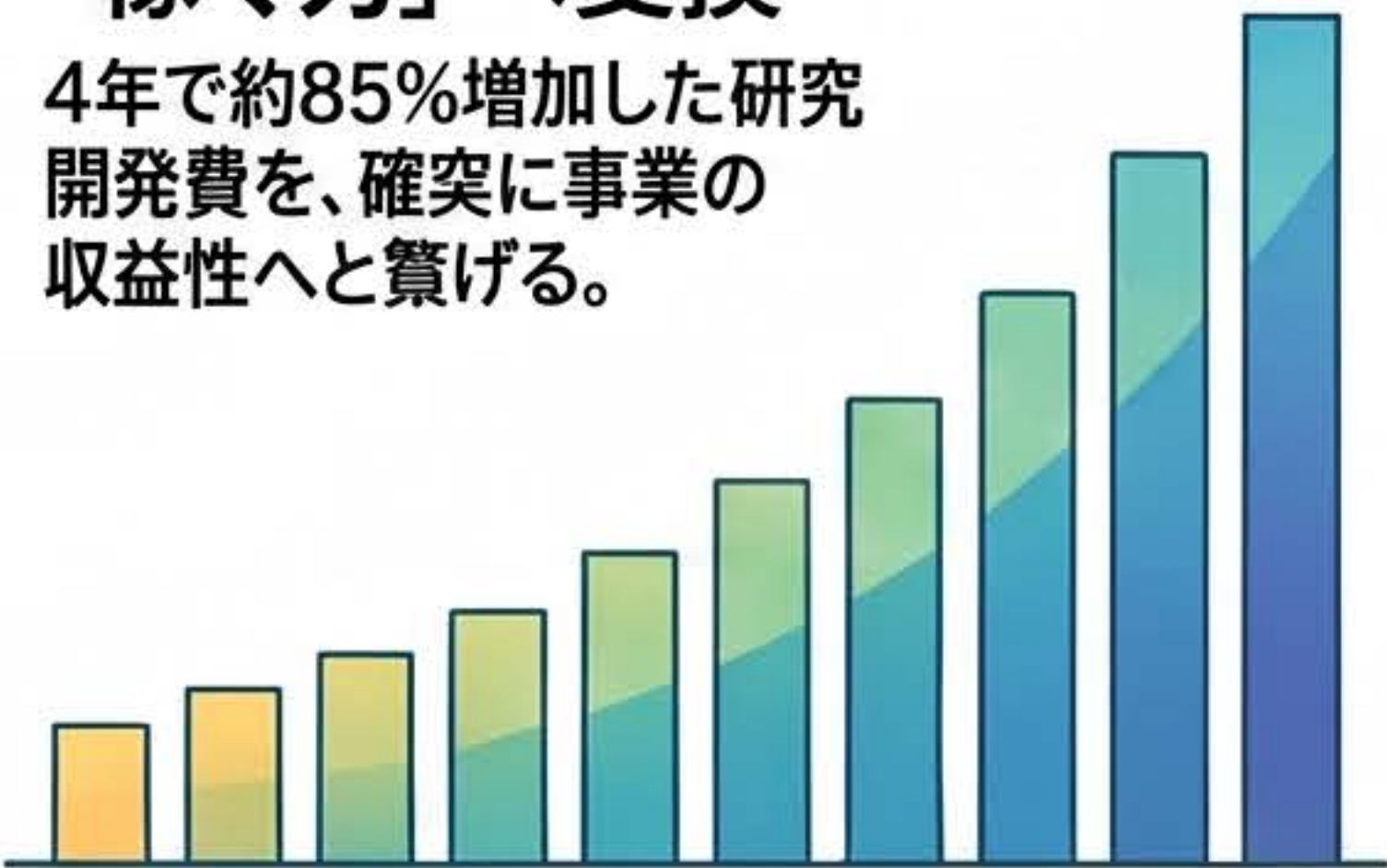


技術・法律・ビジネスを融合
した「三位一体」の伴走
研究開発の初期段階から知財が介入し、
競争優位を築く戦略を構築。

	従来型(守り)
目的	発明の権利化・保護
視点	法律・特許中心
成果指標	出願件数の最大化

急拡大するR&D投資を 「稼ぐ力」へ変換

4年で約85%増加した研究
開発費を、確実な事業の
収益性へと繋げる。



能動的な「事業支援」

戦略的实践：市場創出とAIによる高度化

R32オープン戦略：特許を
「使わない」ことで市場を創る



419件の特許を開放し、市場の
標準化とエコシステム形成を優先。

IPインテリジェンス による経営意思決定 の支援

特許情報を経営データ
として可視化し、投資や
M&Aの判断材料にする。



「人×AI」：定型作業から高度な戦略業務へのシフト



	クリエイティブ型(攻め)
目的	事業・市場の成功設計
視点	技術・法律・ビジネスの融合
成果指標	事業競争力・利益率の向上